

全国調査結果

平成24年3月23日
山梨県環境整備事業団

当センターと同様な漏水検知システムを取り入れている、全国55施設に対して調査を行い、37施設から回答あり

回答37施設のうち、8施設で漏水検知システムでの異常検知の発生事例あり

その異常検知の原因としては

- ・重機の爪で廃棄物・石等を押したことによる遮水シートの損傷と推測（1件）
- ・搬入路付近法面部の工事車両の接触による損傷（1件）
- ・廃棄物が刺さったことによる遮水シートの損傷と判断（1件）
- ・漏電の影響等によるシステム障害（5件）

であり、いずれの施設でも、操業開始後13～22年が経過しているが、この間に、当センターと同様な原因による、異常検知が起こった事例はなし

いずれの施設も、遮水シートの補修または原因対策を実施後、環境モニタリングデータや漏水検知システムデータで異常が無い事を確認し、埋立事業を継続

異常検知が無かったとされる、その他29施設についても、操業開始後6～38年経過している